

特集：看取りと人生会議について考える

最期まで、自分らしく

住 み慣れた自宅で過ごし
たい」、「介護やケア
を受けられる施設で過ごし
たい」、「医療の整った病院で安
心して過ごしたい」など、人
生の最終段階をどこで過ごし
たいか、その想いは一人ひと
り違います。

厚生労働省が実施した国民を対象とした調査では、病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えた場合、43・8%の方が「自宅で最期を迎えたい」と答えています。一方、「医療機関」と答えた方は41・6%、「介護施設」は10%でした。

自宅で過ごしたいと思っても、「急に体調が悪くなったら」、「家族に負担をかけてしまつ」など、不安を感じ

る人もいます。だからこそ、人生の最終段階を迎える前から、どこで、どのように過ごしたいのかを考えておくことが大切です。

この特集では、自宅、病院、施設など、それぞれの場所で関わる人たちや実際に自宅で家族を看取った方などの声を紹介します。

今回の特集をきっかけに、ご家族や大切な方と、これからのことを話してみませんか。

Q. 最期をどこで迎えたいですか？

以下のグラフは、「病気で治る見込みがなく、およそ1年以内に死に至ると考えた場合に、どこで最期を迎えたいか」について尋ねたものです。

